



NPO × 若者
= 創る!!

Action
to
2030

まよのチカラがふくしまを創る

令和3年度
NPO強化による地域活性化事業

チャレンジ インターンシップ事業

事業報告書

▶ごあいさつ	P1
▶事業スケジュール	P2
▶受入れ団体・インターン生紹介	P3
▶インターン生アンケート	P26
▶受入れ団体アンケート	P28
▶活動のアルバム	P30
▶SDGsを意識して活動できましたか?	P31
▶ホームページのご案内	P32

受入れ団体

福島市

- P3…特定非営利活動法人 青空保育たけの子
- P4…特定非営利活動法人 いいざかサポーターズクラブ
- P6…NPO法人 0073(おおなみ)
- P7…特定非営利活動法人 チームふくしま
- P7…特定非営利活動法人 ビーンズふくしま
- P8…特定非営利活動法人 福島就労支援センター
- P9…特定非営利活動法人 まごころサービス福島センター

伊達市

- P24…特定非営利活動法人 みんなのひろば

相馬市

- P20…特定非営利活動法人
市民活動ネットワーク相馬
(旧:相双歴史文化保存会)

二本松市

- P10…特定非営利活動法人
あだたら青い空
- P12…特定非営利活動法人
がんばろう福島、
農業者等の会

郡山市

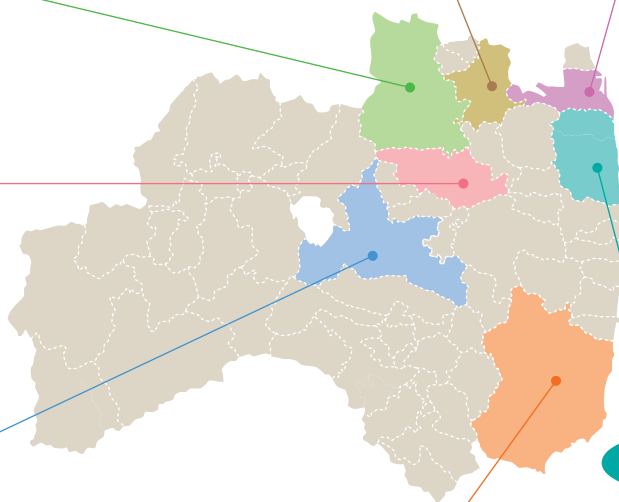
- P14…認定特定非営利活動法人 キャリア・デザイナーズ
- P16…特定非営利活動法人 ココネット・맘
- P18…特定非営利活動法人 子育て支援コミュニティチママン

南相馬市

- P22…特定非営利活動法人
南相馬サイエンスラボ

いわき市

- P25…特定非営利活動法人
いわき環境システム





チャレンジインターンシップに参加されたインターン生の皆さんが、NPO法人の活動を通して有意義な時間を過ごされたことを心から嬉しく思います。NPO法人の皆様には、新型コロナウイルス感染症の影響により活動に制限がある中、感染症対策に配慮した活動の実施やオンラインの活用など、様々な工夫を重ねながら、丁寧かつ熱心に御指導に当たっていただきました。

また、今回もコカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社には、参加者の皆さんが安心して生き生きと活動できるよう御協力をいただきました。

本事業は若者が、復興支援を始めとした、県内で様々な地域活動を行うNPO法人でインターンシップを行うことで、活動を通じてNPO法人に理解を深め、福島への愛着を育み、若者の県内定着を促進するとともに、NPO法人の事業の活性化に繋げていただくことを目的としております。

NPO法人は、地域に寄り添い、柔軟かつきめ細かな活動を通じて社会の多様化するニーズに応えるなど、復興や地域の活性化を進める上で大切な役割を担っております。

県では、今後も民間企業等と連携しながら、ふくしまの輝く未来を担う若者や地域に寄り添い、様々な活動を展開されているNPO法人の支援などを通して、復興の加速化や地域の活性化に取り組んでまいりますので、今後ともお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、事業に参加したインターン生、御協力いただいたNPO法人及びコカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社を始め、関係の皆様の大変なる御尽力に感謝申し上げますとともに、今後ますますの御健勝をお祈り申し上げまして、挨拶といたします。

福島県企画調整部文化スポーツ局

局長 小笠原 敦子



事業スケジュール

当事業は、「若者の学び・体験支援」をテーマとして、福島県在住や本県出身者または本県に関心がある学生（高校生・短大生・大学生・大学院生・専門学校生）が、県内で震災復興をはじめとした地域の課題解決を目指す様々な活動に取り組んでいるNPO法人でのインターンシップを通して、地域が抱える課題や福島県の魅力を学び、未来のまちづくりを推進していく事業です。

詳しくは [チャレンジインターンシップ 福島](https://f-intern.f-saposen.jp) **検索**

<https://f-intern.f-saposen.jp>



特定非営利活動法人 青空保育たけの子

所 在 地 福島市郷野目字仲46-1

連 絡 先 070-1143-1166

U R L <https://www.takenoko-aozora.org/home>



主な活動 子ども達が自然の中で豊かに遊び活動し、人として大切な五感を磨き生きる力を育みその子らしく成長していくことを見守り、その子ども達を取り巻く大人も子どもと共に成長することを目的としています。

受入れ団体
コメント 高校生が実生活や学校で体験できないことにチャレンジしようとしている姿はとても新鮮でした。大きなお姉さんの存在は子ども達にとっても嬉しい時間だったようです。愛陽さん、子ども達に優しく接してくれて、そして、慣れない川遊びやお料理にも挑戦してくれてありがとうございました。



インターン生 紹介



トクエ アヤ
徳江 愛陽 さん

保原高等学校 1年／伊達市出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

- ・子ども達との自然触れ合い活動(川遊び、カヌー体験)
- ・子ども食堂で先生方の調理の手伝い
- ・運動会の準備や競技参加

Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか

元気いっぱい純粋な子ども達からたくさんのパワーをもらいました。子ども達が初めて会った私に何のためらいもなく近づいてきて名前を呼んでくれたのが嬉しかったです。ボランティアとして参加していた大学生との交流も貴重な体験となりました。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

子ども達が安心安全に過ごせるように動いている先生方の細やかな気遣いなどに感心させられました。ボランティア初体験の私にも優しく丁寧に教えてくださいました。これを機に活動の輪を広げ、色々なことに挑戦していこうと思いました。



特定非営利活動法人 いいざかサポーターズクラブ

所 在 地 福島市飯坂町字湯沢26番地

連 絡 先 024-529-6125

U R L <https://iizakasupporters.com>



主な活動 飯坂町の歴史・文化・自然・景観などを活用した観光プログラムの開発や販売、空き店舗を活用し地域の特産品をメニューに生かしたカフェの運営、子ども達の外遊びを促し、「自由に責任をもって遊ぶ」ことをモットーとした冒険ひろば(プレイパーク)の活動などを行っています。

受入れ団体コメント コロナ禍で制約が多く、参加されたインターン生の負担が大きかったように思います。感染拡大状況に合わせて活動期間を延長する等工夫が必要だったと思います。スケジュール調整が十分にできず、途中辞退された方がいたことも大きな反省点でした。短い期間の中での活動が少しでも今後の進路や学業に活かせたら幸いです。



インターン生 紹介



イ ガ ラ シ チ ナ ツ
五十嵐 千夏 さん

あさか開成高等学校 2年 / 郡山市出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

子ども達と外遊び(手作りブランコ・スラックライン・木登り・虫取り・火起こし・おにごっこなど)、ライフジャケットを着て川で魚の観察、水鉄砲などの川遊びを一緒に体験しました。

Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか

今の時代、自然に触れる機会が少ないですが、子ども達は、自然の中でも遊びを見つけて植物や生き物の大切さを理解していました。これから、もっと自然を大切に共存していきたいと思いました。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

子ども達一人ひとりの想いに寄り添うことの大切さを改めて学んだので、人とコミュニケーションを取る時はその人の想い・考えに寄り添っていきたいです。また、子ども達が遊ぶ周りに危ない物はないか、周囲をよく見ることが重要だと気づきました。



インターン生
紹介



サカノイ リオ
坂野井 利緒 さん

福知山公立大学 3年 / 福島市出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

- ・いいざかサポーターズクラブで行われている児童センターでの子ども達との外遊び活動
- ・茂庭ダムでのカヤックツアーへの参加
- ・オンライン活動として書評合戦ビブリオバトルを飯坂で行うことを想定した企画書づくり



Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか

児童センターでの活動では、子ども達が自由に遊べる場の重要性に気付かされました。カヤックツアーでは、参加者に自然とダムの歴史についての魅力を伝えていることが分かりました。企画書づくりでは、企画づくりの難しさを知りました。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

今回の活動では、地域の資源(人・もの・場所)をこれからどのように活かしていけばよいのかを考えさせられました。これからの社会を担う世代として、社会が良くなるようなアイデアを提案できるようになりたいです。

インターン生
紹介



ササキ レイラ
佐々木 玲良 さん

桜の聖母短期大学 1年 / 伊達市出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

もにわっ湖ダムの湖面でカヤックの体験をお客様と一緒にしたり、摺上川ダムの機能や役割についてのクイズをオンラインで話し合いながらエクセルで制作したりしました。

Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか

- ・初めてのカヤックに不安なお客様も、スタッフが話かけたり近くでスピードを合わせて進むことで、不安が解消され楽しんでもらえること
- ・ダムに関する知識

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

飲食店のアルバイトで、お客様に笑顔で接したり、メニューで迷っている時などには積極的に声がけをしたいです。



NPO法人 0073 (おおなみ)

所 在 地 福島市大波字古戸7-3

連 絡 先 024-572-3193

U R L <https://www.npo0073.net>



主な活動 原子力災害で風評被害を受けた会員に対して、福島復興を支援する会員を募り、生産者の顔が見える農作物を会員間で取引できる仕組みを委託事業として行うとともに、地域活性化のための各種事業を行うことで、福島県の地域に寄与することを目的としています。

受入れ団体
コメント

○原子力災害の風評に対して、美味しいものは必ず消費者に理解されること。
○接続可能な農業について、大企業ではできないことを小規模のNPOが挑戦していること。
この2点について、少しでも知っていただければ幸いです。



インターン生 紹介



シギハラ ミツキ
嶋原 美月 さん

桜の聖母学院高等学校 2年／福島市出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

- ・さつまいもの切断、加工作業
- ・冷凍焼きいも切断作業
- ・ものの包装作業・福島駅東口のGoodMarketにて冷凍焼きいもや干しいもの販売
- ・福島の農業の現状やNPO法人0073についてのお話



Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか

農作物を加工して売るときには、できるだけ廃棄の量を少なくしてごみを減らし、売り上げに変えていくことが重要であるということを学びました。福島米の売り上げは、企業の社員食堂で提供し良さを知ってもらおうことや、意外なお店に置いてみることで上がったそうです。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

持続的な農業にするには、消費者が商品に見合った金額を出すことが重要であることを学びました。それを普段の消費生活に反映させ、農作物を購入する際には金額の高い・安いで判断することがないようにしていきたいと思います。

特定非営利活動法人 チームふくしま

所 在 地 福島市野田町6-7-8ツインコートB103

連 絡 先 024-563-7472

U R L <https://www.sunflower-fukushima.com>



主な活動

ひまわりを全国で「里親」として育て、花を咲かせて採種し、その種を福島で「復興のシンボル」として咲かせ、福島と全国との絆を深める「福島ひまわり里親プロジェクト」を行っています。イベント開催による交流人口の拡大、観光振興に繋げるほか、道徳教育や防災教育への展開も進めています。

受入れ団体コメント

今年度もインターン生の受入れ団体として、また、初めてのオンラインでの受入れという貴重な機会をいただきありがとうございました。画面越しでも自団体の想いが伝わることに改めて気付かせていただくとともに、今後オンラインでインターン生を受け入れるようになった場合について考えるきっかけにもなりました。また、伊藤さんにはこのインターンをきっかけにボランティアにもお越しいただき感謝です。本当にありがとうございました。

インターン生 紹介

イトウ リンカ
伊藤 凜花 さん
福島学院大学 1年 / 福島市出身



チームふくしまの活動

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

- ・「福島ひまわり里親プロジェクト」の内容についての話
- ・「ひまわり結婚式」「宇宙ひまわり」などの動画視聴

Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか

このプロジェクトで繋がった人々との間で絆が生まれ、困難にぶつかった時や苦しい時には、お互いに助け合えるような関係が築かれていることを学びました。「助け合い」が大切だということ、今回のオンライン交流で気付きました。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

私自身もこのプロジェクトに参加したいと強く感じました。そして、どんな時でも、困っている人や苦しんでいる人がいたら助けたいと思います。お互いを助け合えるような関係にある周りの人たちを大切にしていきたいと思います。

特定非営利活動法人 ビーンズふくしま

所 在 地 福島市矢剣町22-5

連 絡 先 024-563-6255

U R L <https://www.beans-fukushima.or.jp>



主な活動

生きづらさを抱えた子ども・若者の支援を行ってきました。肩の力を抜いて自分らしく居ることができ、成長できる「居場所」。それぞれに必要な安心できる地域の居場所をつくり、そこに集う「人と人」、そして「人と地域」との架け橋を繋いでいきます。

受入れ団体コメント

今年はコロナ禍ということもあり、オンラインが中心のインターン生受入れでしたが、当団体としてもインターン生の若さ溢れる行動力に刺激をもらいながら、とても楽しく充実したインターンシップ期間となりました。インターン終了後もボランティアに参加してくれたり、繋がりが続いていくことが本当に嬉しく思います。今しかできない経験をしながら、未来の夢に向かって大きく羽ばたいてくださいな!



ビーンズふくしまの活動

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

- ・Zoomでの勉強会 ・コミュニケーションゲーム
- ・スタッフ鈴木さんから「自分の気持ちを素直に出すことについて」のお話
- ・理事長から「設立の経緯について」のお話

Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか

子ども達の悩みについて一緒に悩み、考えることが大切だと知りました。子ども達の気持ちを聴き、その気持ちをどのような言葉で表現するのかを教えてあげることが大切だと学びました。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

私は将来、保育士か幼稚園教諭になりたいと考えているので、子ども達の気持ちを一番に聴きたいと思いました。ビーンズふくしまは、ここまで子ども達のために沢山の居場所をつくっているという熱意を感じたので、私も今後、そのような活動に積極的に参加したいと感じました。

特定非営利活動法人 福島就労支援センター

所 在 地 福島市宮代字宝田前2-4

連 絡 先 070-4419-8412

U R L <https://npo-manabiya.org>



主な活動 求職活動者に対して就職支援活動に関する事業を行い、地域活性化や職業能力の推進に寄与すること、人々が性別にとらわれず個性と能力を発揮し、男女共同参画社会の実現を目指す支援活動をしています。

受入れ団体
コメン

当法人では就労支援や子ども向け学習支援、避難者向けの地域交流会等を運営しています。今回は2名に参加いただき学習支援事業に従事していただきました。新型コロナウイルスの影響や部活動の影響もあり実施は叶いませんでしたが、イベントを企画していただき、法人職員と協働することで両者の知見が広がったと思っています。ありがとうございました。



インターン生 紹介



サイトウ ソウ タ
斎藤 聡太 さん
保原高等学校 1年 / 伊達市出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

- ・子ども達の勉強の手伝いや異文化交流
- ・SDGsについての学習

Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか

SDGsの話で、食料について無駄に作りすぎなことや破棄される量が多いなど、自分達も積極的に考えなければいけない問題がありました。

Q3. 学んだことや気づいたことを今後どのように活かしていきますか

SDGsの話を受け、これからの食料問題についての意識、残ったものをどう利用するかなど自分達だけでできることをもっと考え出していきたいです。



インターン生 紹介



ヒキチ リ オ
引地 莉央 さん
保原高等学校 1年 / 桑折町出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

- ・子ども達に対する学習指導
- ・SDGsについての学習
- ・NPO法人の活動についての学習

Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか

子どもとの接し方を学び、将来の夢である学校の先生に少しでも近づけたと思います。また、NPO法人が社会に対してどのように役に立っているかが分かりました。

Q3. 学んだことや気づいたことを今後どのように活かしていきますか

今回学んだ子どもとの接し方を、将来の夢に活かしていきたいです。人のためになることをやろうと思います。



特定非営利活動法人 まごころサービス福島センター

所 在 地 福島市在庭坂字南林60-2

連 絡 先 024-573-7539

主な活動 市民参画による在宅福祉サービス、学童保育等地域の中で、一人一人の尊厳を保ちながら、住み慣れた生活が続けられるように、市民の手によりたすけあいの輪を広げています。

受入れ団体
コメント 1992年4月の発足以来30年になります。助け合い、支え合いの有償サービスを軸足に、介護保険事業や学童保育等地域みんなの居場所づくりに取り組んできました。「孫子老サービス」の字のごとく、世代や地域を越えた新しいふれあいのある福祉づくり、まちづくり、インターンシップにチャレンジする皆様にはぜひ、住民主体の福祉づくりを体験していただきたいと思います。



インターン生 紹介



カンノ ミソラ
菅野 未空 さん

福島学院大学 1年 / 福島市出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

主に学童保育指導員の方達の補助をしていました。子ども達と遊んでいる時間が長かったのですが、常に子ども達がけがをしないかなど気を付けるようにしていました。

Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか

学童に行ったことがなかったので、どのような場所か、どういった役割があるかなどを学ぶことができました。また、小学生はたくさん動く鬼ごっこなどの遊びが好きなのだと気づき、私もたくさん体力が必要だと感じました。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

これから大学で保育について学んでいくうえで、学童がどのような場所か実際に体験できたことはとても良い経験でした。また将来児童養護施設で働きたいと考えているので、小学生とどう関わるか経験したことを活かしていきたいです。



特定非営利活動法人 あだたら青い空

所 在 地 二本松市岳温泉二丁目20番地11

連 絡 先 0243-24-1518

U R L <https://www.adataara-aoisora.com/index.html>



主な活動 子どもの貧困対策と地域の居場所づくりとしての二本松こども食堂ハラクッチーや子どもの自然体験など、福島復興と子どもの自立支援をすすめるために様々な事業を実施しています。

受入れ団体
コメント

「二本松こども食堂ハラクッチー」事業へ3名のインターン生に参加していただきました。

この事業は、単に子どもの貧困対策にとどまらず、地域の居場所づくりや子育て交流などの地域コミュニティづくりを目的としていること、また行政としてはなかなか手が届かない事業に、NPO法人として取り組む理由についても理解していただいたと思います。

これからも様々なことに挑戦して自らを高める努力を怠ることなく頑張っていってください。



インターン生 紹介



ウメツ トモナ
梅津 友菜 さん
福島学院大学 1年 / 本宮市出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

- ・こども食堂を通して、子育て支援と地域の居場所づくりの体験
- ・料理をしながら交流を楽しみ、一つのものを作り上げる協働活動
- ・子どもと触れ合い、一緒に楽しみつつ安全の確保や保護者との交流

Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか

活動を心から楽しめるような雰囲気づくりと、子どもが伸び伸びと活動できる環境を整えることが大切だと学びました。子どもだけでなく保護者や支援者にとっても、今後の子育てや子育て支援に繋がっていけると学びました。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

子育て支援を必要としているのに利用できない家庭に対して、自由に参加できる子育て支援があることを伝えたいです。子どもだけの支援を考えるのではなく、保護者も楽しんでリフレッシュできる居場所づくりに取り組んでいきたいです。



インターン生
紹介



タカモト チ ハ ル
高本 千春 さん

郡山健康科学専門学校 2年／二本松市出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

主にその日に行われる活動の準備や子ども達に混ざって調理の補助、仕分けのお手伝いなどをしました。また活動後の時間では、子ども達と一緒に遊んだり充実した活動時間でした。

Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか

一番の学びは、子ども達とのコミュニケーションの取り方です。性格も年齢も様々だったため、一人ひとりに適した言葉がけを瞬時に判断することが大変だったと感じています。また地域に根付いて活動する団体の重要性についても改めて考えることができました。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

私が現在志している作業療法士という職業は、リハビリ職ではありますが、児童を対象にすることもあるので、インターンで大勢の児童と関わったことを嬉しく思います。児童と関わるうえで気付いたことを専門的な学びに繋げてこれからも学習に励みたいです。



インターン生
紹介



ナ カ ノ キ エ
中野 希瑛 さん

あさか開成高等学校 3年／郡山市出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

- ・子どもと遊ぶ、一緒にごはんを作る
- ・親とコミュニケーションを取る

Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか

- ・子どもの考え方
- ・子どもの捉え方

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

- ・保育士として働き、学んだことを活かしたい
- ・子どもと関わるときに、子どもの意見を尊重したい



特定非営利活動法人 がんばろう福島、農業者等の会

所 在 地 二本松市新生町490

連 絡 先 0243-24-1001

U R L <http://www.farm-n.jp>



主な活動 福島県内54の農家が協力し、風評被害対策などに取り組んでいます。野菜や果物、加工品の生産、ネットショップによる農産物の販売のほか、農業体験も行っています。

受入れ団体
コメント

NPO法人がんばろう福島、農業者等の会では県内の農家と協力して福島産の野菜や果物を販売したり、生産部門ではきゅうりやお米の栽培を行っています。今年度は感性や個性が豊かな5名のインターン生にインターンシップに参加していただきました。皆さんの興味関心や疑問に応えられるようにと内容を検討し、その中で皆さんがインターンシップに励む様子を見られ、当団体もとても刺激になりました。ご参加ありがとうございました。



インターン生 紹介



イ ガ ラ シ ヒ ナ
五十嵐 陽菜 さん
福島学院大学 1年 / 郡山市出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか
野菜の種まきから収穫、袋詰め、出荷の活動を体験させていただきました。原発事故の被災後、風評被害から立ち直るためにしてきた活動の話も聞くことができました。毎日がとても新鮮で、充実した経験ができました。

Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか
地元の農業者さんの話を聞く中で、福島野菜は「甘くて美味しい」という意見が全国的に多いことを知りました。農業者の方達の野菜に対する深い愛情に気付くことができ、野菜と大切に関わっていきたくと思いました。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

私達が手に取る野菜一つひとつに農業者さんの愛情が込められていて、農業はとても素晴らしい仕事だということに気付きました。野菜と農家の方に感謝し、これからも福島野菜に関わるボランティアに積極的に参加したいと思いました。



インターン生 紹介



イ ト ウ ナ ツ キ
伊藤 夏綺 さん
福島学院大学 1年 / 郡山市出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか
きゅうりの袋詰めやカゴの洗浄、野菜の種まき等、野菜の手入れから収穫までに必要な作業を中心に行いました。活動中は天候に左右される日が多く、臨機応変な対応が必要だと感じました。

Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか
風評被害が思ったより地元に影響していたこと、原発事故の影響は現場から近い所だけが大いわけではないこと、作物は安全に出荷されていること等、今まで知っているつもりでいましたが、改めて学ぶことができたと思います。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

農業はもちろんのこと、経営的な部分であったり、出荷のこと等詳しく話を聞いて知ることができたと思います。私は将来、保育士になることを目指しているので今回学んだことを子ども達に共有していきたいと思いました。



インターン生
紹介



オ マ タ タ イ チ
尾股 泰知 さん

国際ビジネス公務員大学校 1年／
西郷村出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

きゅうり、なす、かぼちゃ、ズッキーニ、モロヘイヤの収穫をしました。また肥料まき、きゅうりの袋詰めと出荷、食料支援の箱詰めを手伝いました。それから、放射能の対策や福島の復興に向けての活動について話を聞くことができました。



Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか
今回のインターンシップを通して、消費者のことを常に思いながら一つひとつの作業をすることで、より美味しい野菜を消費者に届けることができるということを知りました。このような意識は農業だけでなく、どんな仕事でも通ずることだと思いました。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか
今回のインターンシップで得た学びを、学校を卒業し就職した後、仕事へ取り組む姿勢に活かしたいと思います。また福島復興の携わり方は色々な形があることを知り、自分なりに福島の復興に少しでも貢献できるよう頑張りたいと思います。

インターン生
紹介



カ ク シ コ ウ
郭 芷航 さん

福島大学大学院 1年／中国出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

- ・きゅうり・モロヘイヤの収穫と袋詰め
- ・直売所見学
- ・えごま試食会
- ・玉ねぎの皮むき
- ・カボチャの計量



Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか
自分で種をまき収穫する、自分が作った農産物を食べる、自然に触れ合いきれいな空気を吸う、それらは意外と楽しかったです。今後農村に移住したいという気持ちになりました。郷土料理も美味しくて、日本料理を代表できると思います。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか
大学院で過疎地域の活性化について取り組んでいます。活動によって農業することの楽しさ、郷土料理の美味しさがわかりました。それを過疎地域に移住したい人に伝えます。地域振興のツールになると思います。

インターン生
紹介



タ キ タ イ オ リ
滝田 維織 さん

福島学院大学 1年／郡山市出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

種まきや畑の草むしり、野菜の袋詰め等をしました。私は今まで農作業をしたことがなかったため全てが新鮮でした。特に野菜の袋詰めでは、傷んでいる箇所はないか虫がついていないかなど、丁寧に確認しつつも効率良く行うことが難しかったです。



Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか
座学では風評被害や近年の農業のあり方について学びました。東京へ直接足を運んで野菜や果物を販売していることや6次産業化など、日常生活では触れることのなかった農業分野の活動をしたことで知ることができました。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか
今回の活動を通して、消費者の立場になって考えることや現場で働く人から意見をもらうことが顧客獲得や販売数に繋がることを学びました。これは農業の分野だけでなく他の様々な分野にも共通することだと思うので忘れないようにしていきたいです。

認定特定非営利活動法人 キャリア・デザイナーズ

所 在 地 郡山市昭和2-2-7さとうビル2F

連 絡 先 024-973-5667

U R L <https://npocd.jp>



主な活動 いわゆるニートやひきこもり経験者の社会参加・就労自立支援の活動を行っています。地元企業での就労体験・ジョブトレーニング、就職準備のための講座、交流会、保護者会、セミナーを実施しています。

受入れ団体コメント 参加された3名の皆さんそれぞれ目標を持ち、意欲的に活動に取り組んでいました。最初は緊張していましたが、インターンが終わるころには利用者やスタッフと笑顔でお話していました。見知らぬNPO団体にインターン参加するのは勇気がいったと思います。参加して感じたこと、学んだことを今後の進路選択や人生にぜひ活かしていただければ嬉しいです。当法人へのインターン参加ありがとうございました。



インターン生 紹介



イ シ イ シ ゲ キ
石井 茂樹 さん
日本大学 3年 / 郡山市出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

ジョブトレーニングやコ・ワーク(事務所内の軽作業ワーク)への参加など、社会参加の就労自立支援の活動を行っているメンバーの方と関わる活動を中心に行いました。またその他にも、簡単な事務作業の補助も行いました。

Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか

私はメンバーやスタッフの方との活動を通して、コミュニケーションの大切さ、難しさについて改めて感じました。またNPO法人が活動していくためには、本当に多くの人の協力が必要不可欠であるということも学ぶことができました。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

私は自身の視野を広げるために今回のインターンシップに参加しましたが、非常に良い経験をさせていただき、目的は達成できたように感じています。今後はこの経験を活かし、自身の進路について改めて考えていきたいと思っています。



インターン生
紹介



ゴトウ シュカ
後藤 珠夏 さん

郡山女子大学附属高等学校 2年／鏡石町出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

- ・事務作業（資料発送準備や部数、枚数確認）
- ・内職作業の手伝い
- ・お茶出し

Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか

コミュニケーションを通しての協調性の重要性、他者との関わり方、また関わりを通しての繋がり的重要性を学びました。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

今後人との関わりが増えていく中で、相手の話を聞く時のコツやポイントを活かして、出会った人との関係を大切に、広く平等に接していけるようにしたいです。



インターン生
紹介



タカハシ
高橋 まりあ さん

会津大学 3年／郡山市出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

- ・体験活動（ピーマンの袋詰め、エンカレッジ講座の参加、館内清掃）
- ・事務作業（清掃、データ入力、アンケート結果集計フォームの作成）
- ・提携団体の活動場所の見学（ピーマンの選果場、エフライフさんへの納品）

Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか

- ・地域や利用者、またその保護者との連携を十分に取ることの必要性を感じた
- ・体験活動を通して自分と向き合い適性を探すことができると感じた
- ・周りに左右されず、自分のペースに合わせて社会貢献を目指すことが重要である

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

- ・自分だけで完結せず、身近な人々との連携が必要なことを意識すること
- ・自分の目標を定めてそれに向かい自分のペースで進めることが重要であること
- ・マイペースな中でも協調性を大切に、チームワークの必要性を感じた



特定非営利活動法人 ココネット・マム

所 在 地 郡山市鳴神1-138-1

連 絡 先 024-983-1539

U R L <http://www.coconetmamu.net>



主な活動 子育てをされていて感じた「あったらいいな、こんなサポート」を誰かがやってくれるのを待つのではなく自分達で始めようと、学童保育室を開いたのが活動のきっかけです。子どもが安心して笑顔で過ごせる環境づくりを目的とし、子どもへの支援、保護者への支援、社会への発信を行っています。

受入れ団体コメント 今回、初めてチャレンジインターンシップ事業に参加させていただきました。夏休みの学童保育室で、宿題を見たり、一緒に活動に参加してもらい、子ども達も親しみを持ってインターン生達と過ごしていました。スタッフにとっても例年とは違った新鮮な夏休みとなりました。コロナ禍で活動が存分にできなかった部分もありましたが、子ども達と過ごした時間や経験が皆さんの力になることを願っています。



インターン生 紹介



アラキ ユウカ
荒木 優花 さん

郡山女子大学附属高等学校 2年/
郡山市出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

- ・子どもと一緒にカレー作り、外遊び、卓球など
- ・子どものおやつ準備を手伝う
- ・子どもの宿題をみる

Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか

- ・子ども扱いをして話すのではなく、普通に話した方がコミュニケーションがたくとれた
- ・一人ひとりがとても優しい子で活動をしていてとても楽しかった

Q3. 学んだことや気づいたことを今後どのように活かしていきますか

私は将来、子どもと関わる仕事に就きたいと思っているので、今回の活動で学んだ子どもとの接し方や子どもの優しさを忘れず活かしていきたいと思います。また子どもが楽しく過ごせる社会になるように、自分が大人になった時社会に貢献できたら良いなと思っています。



インターン生 紹介



ワカスギ ミサキ
若杉 美咲 さん

郡山女子大学附属高等学校 2年/
会津美里町出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

子ども達と一緒に遊んだり、リモートで先生と手遊びをしたり、がくと館に行って映画を見たり、様々な活動をしました。

Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか

今まで幼稚園や保育園の子ども達と遊んできましたが、小学生は少し大人という感じがしました。みんな外で遊ぶことが大好きで、外の時間になると一斉に出て遊んでいました。

Q3. 学んだことや気づいたことを今後どのように活かしていきますか

将来子どもに関わる仕事について、インターンでやったこと、印象に残ったこと等を活かしていきたいです。



インターン生
紹介



キクチ シュント
菊地 駿斗 さん

尚志高等学校 2年/
東京都日野市出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

主に小学生の児童を保護者の就業時間までお預かりする「学童保育室運営事業」に関りました。その他にも、子どもが楽しめる、学べるイベント運営(イベント運営開催事業)や委託事業の一つである、ファミリーサポートセンターを訪問したりしました。



Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか
あらゆる方向性のイベントを企画し、「体験」を通して何かを始める「きっかけづくり」を提供していることがこの団体の特徴であり、学びでした。団体設立の思いもファミリーサポートも本質は「ニーズに応える」という部分だと感じました。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか
父親という立場になった時に、家族でコミュニケーションを取りながら、子どもの将来を考えながら、様々な体験を共にしたいと思いました。仕事を調べる、決める際は「ニーズを理解する」ということを大切にしたいと思いました。

インターン生
紹介



ワカバヤシ アヤ
若林 彩 さん

郡山女子大学附属高等学校 2年/
郡山市出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

学童探検、学童プール、緑日準備、学童見守り、ココマムランチ、昼食サポートなどの活動を通して子ども達と関わりました。特に学童プールでは、たくさんの子ども達とお話をして親睦を深められた活動のひとつだったと思います。



Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか
学んだのは子どもと関わることは難しいということです。子ども達は個性があり、人見知りであり話さない子とは理解し合うのが難しかったです。しかし、素直に言葉にしてくれる姿を見たときは成長がみられて嬉しかったです。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか
人と関わる時に活かしていきたいです。思ったことははっきり言ってお互いに理解し合ったり、相手を想って行動する子ども達を見て、素直にこういった行動をできることがどれだけ素晴らしいかを何度も考えさせられました。

インターン生
紹介



ワタナベ ヒナタ
渡邊 日向 さん

郡山女子大学附属高等学校 2年/
棚倉町出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

- ・学童探検
- ・学童見守り
- ・学童プール
- ・お昼買い物
- ・緑日準備
- ・ココマムランチ



Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか
コロナ禍でも子ども達が楽しめる行事が沢山あり、とても魅力的だと思いました。また、お昼の買い物やココマムランチは、働くお母さんにとってありがたいと思いました。子ども達の笑顔が沢山見れて楽しかったです。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか
今回の活動では子育てに関する基礎知識や実技を学ぶことができました。また、少しでも誰かの役に立とうという気持ちが大切だと思いました。私も将来少しでも誰かの力になれるような職業につきたいと思いました。

特定非営利活動法人 子育て支援コミュニティプチママン

所 在 地 郡山市富田町字大徳南2-23

連 絡 先 024-983-1925

U R L <https://petitmaman.or.jp>



主な活動 郡山地域を中心に子育て支援をしている法人で、常設ひろばでの親子活動の他、出張での各種活動を行っています。

今年度も引き続きコロナ禍で、模索しながらの活動となりましたが、常設ひろばでのイベントのお手伝いに参加していただきました。

受入れ団体
コメント 小さなお子さんと触れ合うことが初めての方が多かったですが、回を重ねるごとに積極的にお子さんやママと接する姿が見られました。

スタッフも皆さんと活動してみても学びや気づきがありました。

今回の経験をこれからの将来に活かしていただけると幸いです。



インターン生 紹介



オオシマ ナ ナ ミ
大島 七海 さん

郡山女子大学附属高等学校 2年/
西郷村出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

親子で活動するイベントの準備や後片付けの手伝い、幼い子の面倒を見るなど、人と関わったり、食事の配膳や工作作りなどの手伝いもしました。



Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか
親子への支援としてどのようなことが行われているのか、小さい子への接し方について学びました。また、人との繋がりがとても大切だということに気づくことができました。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか
NPO法人の行っている活動を知り、将来はNPO法人のように人の役に立つ仕事をして、人に必要とされる人になれるよう、この経験を活かしていきたいと思います。

インターン生
紹介



コマツ ミク
小松 未来 さん

郡山女子大学附属高等学校 2年/
郡山市出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

ミニ縁日やベビーリトミック、おとのパレットを行いました。ミニ縁日ではお面を作る係、ベビーリトミック・おとのパレットでは、人形や体を使って子ども達、お母さん達と走り回ったり、歌を歌ったり、楽器を使ったりしました。



Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか
子ども達との距離感や自由さ、コミュニケーションの取り方を学びました。赤ちゃんや2〜3歳の子どもと、幼稚園に入ったばかりの子どもとの接し方は違うこと、泣いている子どもへの接し方を職員さんや親御さんを見て学べたと思います。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか
教えてもらったことや見て学んだこと、活動をして分かった自分の悪いところ・良いところを忘れないようにし、自分の進路に繋げていきたいです。また子ども達と会う時は、笑顔で明るく接することができるよう心がけたいです。

インターン生
紹介



サトウ モモカ
佐藤 百花 さん

会津学鳳高等学校 3年/
会津若松市出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

親子遊びなどで一緒に時間を過ごしました。プチャマンさんが、お母さんと子どもを想い考えた活動をする中で、どう向き合うべきか深く考えさせられました。



Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか
一番強く感じたのは、子どもの支援だけではなくお母さんの支援も大切だということです。子どもが健やかに育つには、お母さんの気持ちの余裕が必要不可欠ということを知りました。ただ話を聞いて「大変だったね」と認めることで救われるのだと感じました。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか
私は将来小学校教員になりたいと考えているので、子どもを支えていくと共にお母さん達保護者の方との対話を大切にしていきたいです。子どものために最善のことができるように、親と教員が子どもを育てるパートナーになれるよう頑張りたいです。

インターン生
紹介

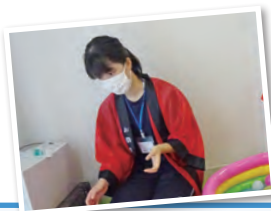


ツネツネ ミサト
常恒 美里 さん

郡山東高等学校 2年/
郡山市出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

主にイベントの飾りつけ準備や、親御さんの活動中に子どもの面倒をみました。親子のミニ縁日イベントでは、子どもが楽しめるよう法被を着るなど、本当の縁日のようにして、お祭り屋台を通してふれあいました。



Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか
子どもと接する大変さと楽しさを学びました。積極的・消極的な子で対応が異なるため、接し方が分からず大変でした。また最初は笑顔が少なかった子の笑顔が増えていくと、自分も自然と笑顔になれて嬉しかったです。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか
インターンシップで学んだことを今後の進路選択に活かしていきたいです。活動を通して、親子と関わっていく仕事や子どもと強く繋がりを持つ仕事に興味を持ちました。活動で経験したことを進路確立に役立てていきます。

特定非営利活動法人 市民活動ネットワーク相馬

所 在 地 相馬市馬場野字山越89 さとばたけ相馬アムウェイハウス

連 絡 先 0244-35-6881 080-5562-3335

U R L <https://satobatake.fc2.net>



主な活動 東日本大震災により被災した、福島県浜通り地域、旧相馬中村藩領内の歴史文化遺産の保存並びに地域の地場産品の活性化、農業の6次化に取り組むことを目的として活動をしています。

受入れ団体
コメント

近い将来、新しいステージに飛び立つ若者達がNPO法人の取り組みを経験して、地域の繋がり的重要性や社会貢献の必要性を知っていただく機会や場の提供をできたことが、大変有意義であったと感じています。

大きな変革の時代の中で、若い世代の皆さんが次世代の役割を担う基盤人材として大きく成長されることを期待します。失敗を恐れず世界に出て挑戦し、大きく羽ばたき、最後は地元に帰ってきてね!



インターン生 紹介



オオサク ハルキ
大迫 春輝 さん
相馬高等学校 2年 / 南相馬市出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

- ・じゃがいも堀り体験
- ・歴史保存会施設案内
- ・相馬市内にある歴史文化を散策
- ・相馬藩と伊達藩との歴史について



Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか

新地町は、戦国時代に相馬氏と伊達氏の長い戦いがあって、新地城と駒ヶ嶺城は相馬氏が築城し、最初から伊達藩領ではなかったということを熱くお話いただきました。また相馬の街には、いつも素通りしている所にちょっと目を向けるだけで相馬の歴史が含まれていたりすることが分かりました。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

これからは、普段素通りしている所に目を向けてみるのと同時に自分の夢でもある経営者になるためにも、もっと自分の周りの人の行動などに目を向けて、気配りできる人間になれるように日頃から心がけていこうと思います。

インターン生
紹介



シミズ
清水 ひろか さん

相馬高等学校 2年／南相馬市出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

実際に相馬のお墓や建物などの歴史を目にしながらの散歩や、二宮金次郎についての映画や話を聞きました。また東日本大震災当時の状況についてのビデオを見たり、じゃがいも堀り体験などを行いました。



Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか

自分自身が知らなかった奥深い歴史や伝統を知ることができ、知識が浅かった二宮金次郎についても知ることができました。私が知らない相馬の活動を知ることができました。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

相馬市の伝統や歴史について、自分なりにもっと深く調べて知識を得たいと思いました。そして私の知らない相馬市の活動について詳しく調べようと思いました。

インターン生
紹介



テラシマ ユウイチロウ
寺島 祐一郎 さん

相馬高等学校 2年／相馬市出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

相馬市の歴史で、様々な史跡を見て回り、この地を治めた相馬氏に関するだけでなく、農民の生活についても勉強しました。特に二宮金次郎の教えを中心に学び、相馬市の歴史に根強く残る「至誠」「報徳」の思想などについても勉強しました。



Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか

二宮金次郎が説いた「至誠」は相馬高校の校訓にもなっており、江戸時代の天明の飢饉を乗り越えました。そんな金次郎の映画を鑑賞して、人生を良くしていくためには“善い行い”をすることが一番であると知りました。昔の人々の思想は現代社会でも通じると思います。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

自分の所属している郷土部から、相馬市にある歴史的な建造物や史跡を多くの人に知ってもらうために発信していきます。相馬にゆかりのある偉人達の教えを自分で実践してみます。

特定非営利活動法人 南相馬サイエンスラボ

所 在 地 南相馬市原町区東町2-50

連 絡 先 0244-26-6286

U R L <http://www.sciencelabo2011.com>



主な活動 主に親子を対象とした自然科学・農業食育・環境保護・歴史文化等の体験教育活動を行っています。

受入れ団体 コメント

今回のインターン生4人は「夏野菜カレーを作ろう!」「枝豆の収穫」「羽根田カンボス彗星ってなんだろう?」「運動ってなんだろう?」などのイベントを通して、体験教育の重要性を理解してくれたようです。また、子ども達と触れ合う体験は、彼らの進路にも良い影響を与えたようで、受入れ団体として大変嬉しく思います。チャレンジインターンシップ事業は多世代間の交流とともに、人材育成にも大きく貢献したと確信しています。



インターン生 紹介



カン ノ リン
菅野 凜 さん
相馬東高等学校 3年/
新地町出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

普段の生活では中々体験する機会のない作物の収穫やピザ作りなどを子ども達と一緒にしました。また講演会では、準備や劇のお手伝いなどをさせていただきました。



Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか
実際に自然と触れ合い体験することで、自分で考えて行動することの重要性を学びました。また活動後は、今まで知らなかった自然、天体、運動についての知識が多く身についたと思います。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか
私は将来教師になることを目標としています。インターンシップで得た体験することの大切さ、自分で考えて行動することの重要性を子ども達に伝えていきたいと思います。学んだことを忘れず、これからの生活に活かしていきたいと思っています。

インターン生 紹介



コヤツ ヒイロ 小谷津 陽色 さん

相馬高等学校 1年/
南相馬市出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

親子参加型の知育イベントの開催がメインでした。農作業体験、科学的な実験などを通して参加者に様々な知識を伝えました。インターン生みんなで協力してイベントの事前準備と進行を行いました。



Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか
活動中は多くの方とお話をする機会がありました。イベントの講師として来ていただいた福島大学の先生とは、大学やその分野の話ができ、進路決定に役立つ情報を知ることができました。また南相馬市の偉人や農業についても深く知ることができました。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか
私はこのインターンで学んだことを将来社会貢献をする機会に役立てたいです。活動をする中で福島には多くの魅力があることとそれがあまり認知されていないことを知りました。福島の魅力を伝えられる機会があったら積極的に活動したいです。

インターン生 紹介



タダノ リン 只野 鈴 さん

相馬高等学校 2年/
南相馬市出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

親子キャンプ、天体観測、羽根田・カンボス彗星の講話、運動ってなんだろうの講話のお手伝いをさせていただきました。



Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか
子どもと関わることの楽しさ、今まで疑問に思わなかった理科の現象、参加者やスタッフ、講師の方々とのコミュニケーションの取り方などを学びました。理科の楽しさに触れている子ども達を見ることができました。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか
自分は将来の職業に薬剤師・理科の教師で悩んでいますが、どの活動も絶対に将来に必要なことなので、今回得られた発見と気づきを大切にして、職業選択に役立てたいと思います。

インターン生 紹介



テラシマ シオリ 寺島 詩織 さん

相馬高等学校 2年/
新地町出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

- ・ 親子科学教室の運営の手伝い、テントの設営、道具の運搬、参加者の案内、昼食の配膳など
- ・ 相馬市子どもフェスティバルへの参加



Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか
教科書や本に書いてあることを鵜呑みにするのではなく、自分で実践し経験して答えを出すことが大事なんだと気が付きました。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか
「今までそうしてきたから」「それが当たり前だから」という言葉に惑わされず、何事も自分で考え行動し、実践して、自分の中で納得のいく答えを出して、新しいことにも果敢に挑戦していきたいです。

特定非営利活動法人 みんなのひろば

所 在 地 伊達市保原町字内町13-14

連 絡 先 024-573-7781

U R L <http://minnanohiroba.org>



主な活動 伊達市において不登校支援のフリースクール事業、高卒サポートの高等部事業、障がいのある子どもの療育サポートの放課後等デイサービス事業を行っています。

受入れ団体
コメント

今回、インターン生には放課後等デイサービス事業所に入ってもらい、子ども達と一生懸命関わっていただきました。インターン生を受け入れるのは初めてだったので、実のあるインターン期間になるよう、私どもスタッフもいろいろと検討しながら、インターン生も我々スタッフもお互いに勉強になる良い機会にすることができました。



インターン生
紹介



サイトウ ワ カ ナ
齊藤 羽果那 さん
福島学院大学 1年 / 伊達市出身



Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

施設を利用している子ども達を1日お預かりするお手伝いをさせていただきました。子ども達が来る前に、ゴミ出しや外の掃除・洗濯などの準備を行いました。子ども達が楽しかったと思って帰れるかどうかには重点を置き、一緒に1日を過ごしました。

Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか

- ・このような施設が地元であり、このような職員さんがいらっしゃるということを知ることができた点
- ・子どもの愛情表現・かまってほしい時の表現は様々
- ・まずは信頼関係を築くことから
- ・周囲の方に対するありがたさ

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

私は保育教諭として地元で働きたいと考えています。ご教授頂いたこと、気づきを、子どもと関わる際のヒントにすることは勿論ですが、体験をもって施設・職員さんの存在を知ることができた点を活かし、支援を必要とする方と施設を繋ぐ架け橋になれたらと思います。

特定非営利活動法人 いわき環境システム

所 在 地 いわき市平赤井字田中10-7

連 絡 先 0246-35-6242

U R L <https://www.iwaki-ks.or.jp>



主な活動 いわき市ホームページにある「いわきiマップ」で確認できる環境放射線量の測定や、給食センターの食材における含有放射線量検査等の事業を通じて、住民の皆さんの安心安全を守るお手伝いをしています。

受入れ団体
コメント

本年度インターン生の神谷さんは、いつも朗らかで、物怖じせず積極的に実習に取り組み、質問も活発に行っていました。彼女の実習期間中は、事務所の雰囲気も大変明るくなりました。

コロナ禍のため、当初の予定を一部短縮しての実施となりましたが、その姿勢のお陰で、中身の濃い、お互いにとって有意義なインターンシップになったと思います。

今回の経験がこれからの成長や活躍の糧になることを願っています。



インターン生 紹介



カミヤ マホ
神谷 麻帆 さん

磐城緑蔭高等学校 1年 / いわき市出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

座学ではいわきアカデミア、放射線の基礎知識、インターンシップについて学びました。実習活動では、走行サーベイによる通学路のモニタリング、シンチレーションメーターによる測定、食品放射線測定を行いました。



Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか

初めてNPO法人のいわき環境システムにインターンしてみても様々なことを学びました。知識だけを得たのではなく、挨拶、笑顔、コミュニケーションなどから人間性の大切さも教えていただきました。この法人があることでいわきに安心安全があることを知りました。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

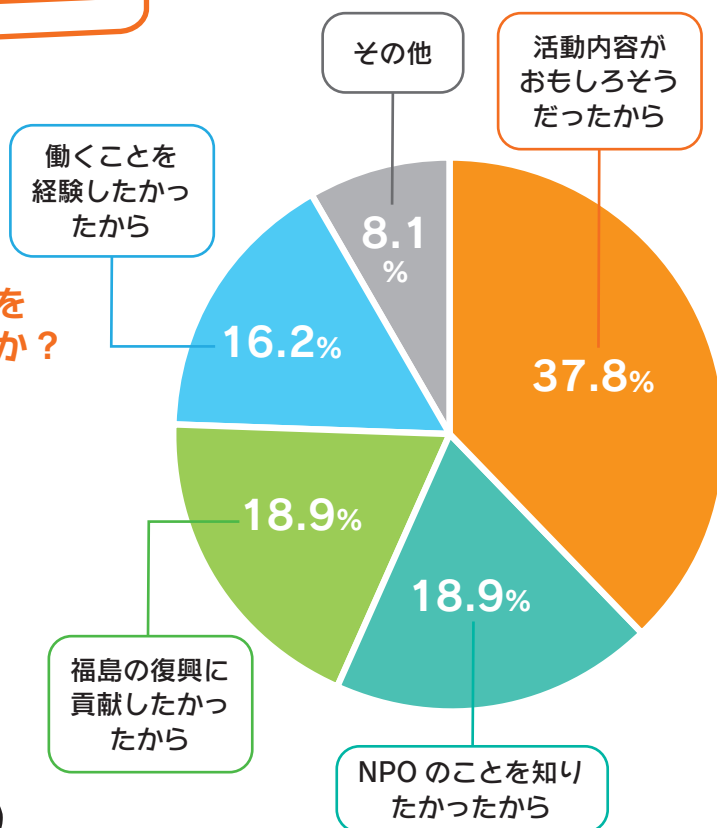
まずはこのような素晴らしい法人があることを多くの人に知ってほしいと思いました。最終日に理事長の川口さんからインターンシップについて深く教えていただきました。今後のスキルアップのためにも学んだことを活かし、普段の学習から意欲的に頑張ります。

インターン生アンケート

37 件の回答

Q1.

インターンシップへの参加を決めた一番の理由は何ですか？



Q2. 活動してみてどのように感じましたか？

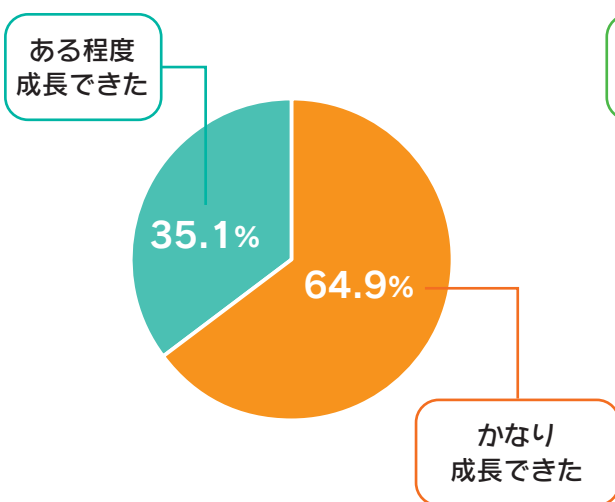
- 農業をすることの楽しさ、農家の現状について知ることができた
- 活動を通して子どもと関わることの難しさや楽しさを知れた
- 社会におけるNPO法人のあり方を知ることができた
- 日頃できないことを体験でき、今後に活かせる経験を得られた
- NPO法人の方々の福島に対する思いが凄かったと思った
- 普段関わることができない方々との交流を通して、研鑽を重ねることができた
- 子どものために細かいところまで配慮し計画されていて、大変な部分もあったが、充実したインターンシップだった
- 子ども食堂の運営について学ぶことができた
- 地域活性化に貢献できたと感じた
- 歴史を深く学ぶことができ、地域に貢献することの意義を感じた
- 普段の学校生活ではできない体験ができた
- 地元で行われている活動を知れた

Q3. NPO 団体で活動した経験を 今後どう活かしていきたいですか？

- 将来、福島を県外の方々に紹介するときに活かしたい
- 地域活性化で、市の抱えている問題の解決に活かしていきたい
- 体験したことを多くの人に伝えていきたい
- 自分も NPO に就職してみたいと思った
- 自然に触れることの楽しさや野菜を一から育てることの苦労、収穫できたときの喜び、調理したときの美味しさをぜひ教えてあげたい
- 自分の将来に通ずる部分や今回の活動で得た経験を自分の中の考え方のひとつとして視野を広げていきたい
- 大学での学びに繋がると共に、大人になったら福島に帰ってきて先生という立場から福島の未来を支えていきたいと考える
- 地元で行われている活動を知れたので、その発展方法や他の資源との組み合わせについて考えてみたい
- 今の子どもの支援活動の目的を深く理解して、子どもとその子育ての現状に寄り添うことができる保育士を目指していきたい
- 休みを活用しボランティアとして参加したい
- 地元の良さをどのようにしたら引き出せるのか、私にできることは何かを考えてそれを実行したい

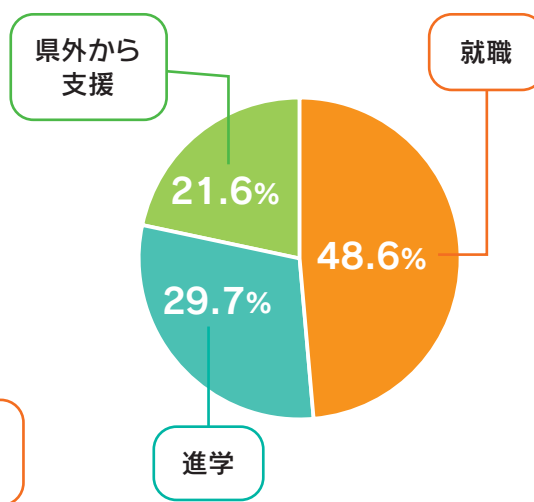
Q4. 今回のインターンシップ活動を通して、あなた自身は成長できましたか？

37 件の回答



Q5. 将来的に福島県とどのような関わり方をしていきたいですか？

37 件の回答

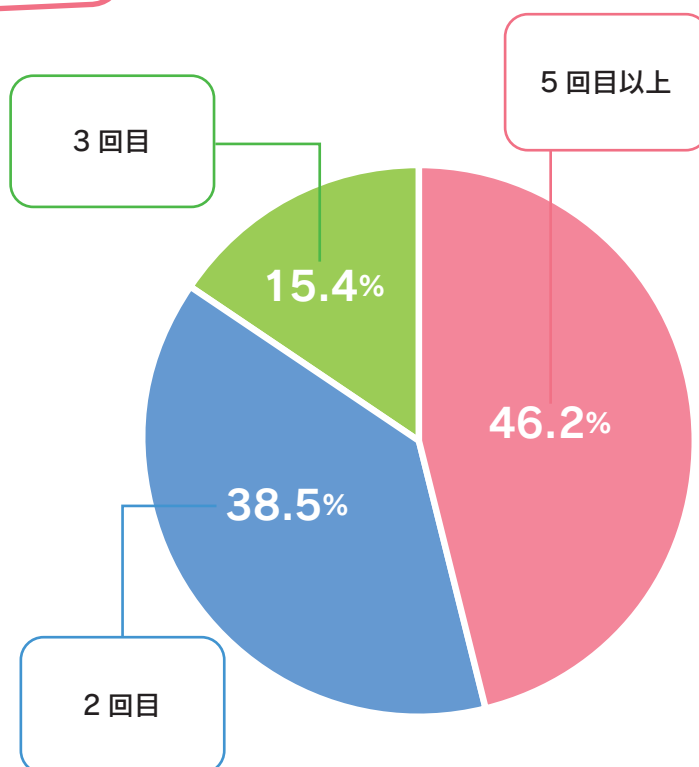


受入れ団体アンケート

13 件の回答

Q1.

継続参加されている回数を教えてください



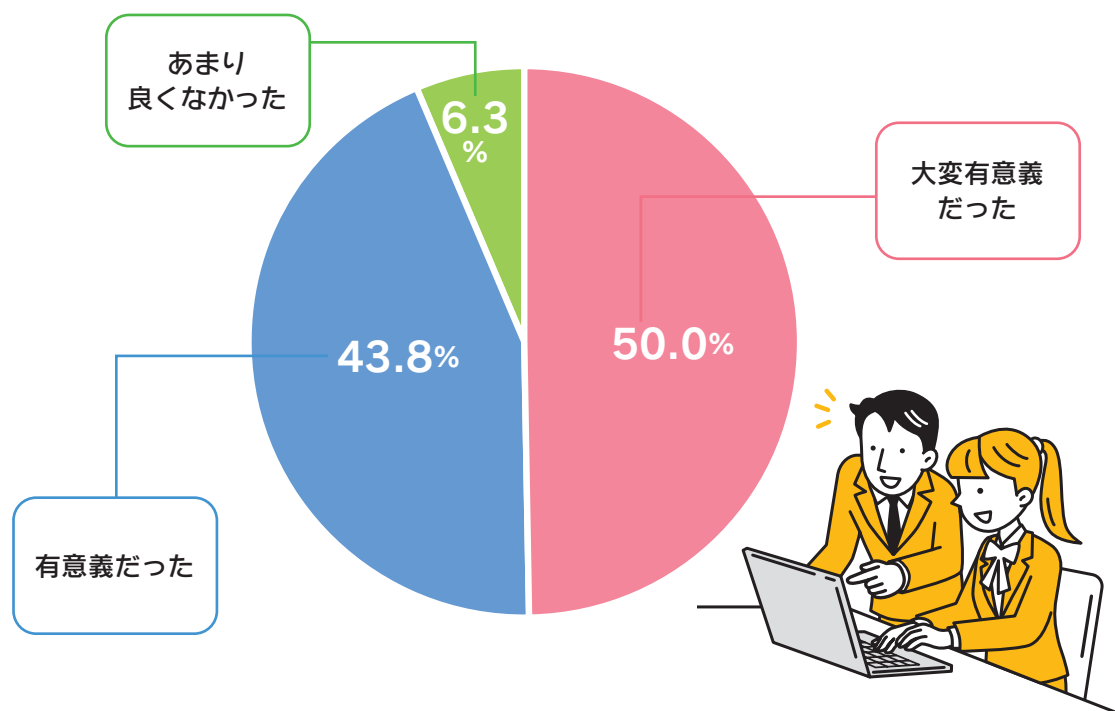
Q2. 応募を決めた一番の理由を記入してください

15 件の回答

- 例年参加させていただき、とても良い刺激になるから
- インターン生達の力になりたいという思いと自分達の団体の向上のため
- 多世代の交流のため
- インターン生から様々な気づきをいただくとともに、スタッフの成長にもつながるため
- 団体内に新鮮な風を入れるため
- 住民主体の福祉づくりを体験していただきたい
- NPO法人の活動を広めたい
- インターン生への貢献と、当法人の活動に対し刺激になるため
- 若い世代との交流の機会を得ることができる考えたため
- インターン生との協働をはかるため
- NPO法人の責務の一つとして、人材育成に貢献したかった
- 児童福祉に興味を持つインターン生を育てたいと思うから
- 将来あるインターン生の皆さんの貴重な経験に寄与したい
- 若い人と一緒に活動に興味があり、人材育成も会の目標だったから
- 自分の地域を知ってもらいたいから

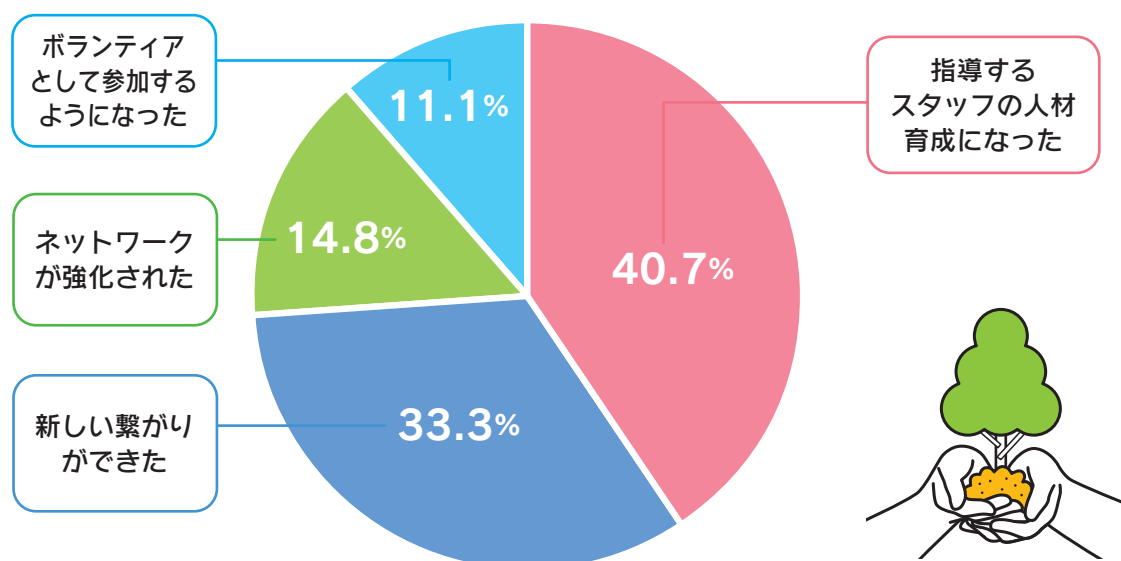
Q3. インターン生の受入れをしてみて、どのように感じましたか？

16 件の回答



Q4. Q3. で大変有意義だった、有意義だったを選択した主な理由は何ですか？

15 件の回答

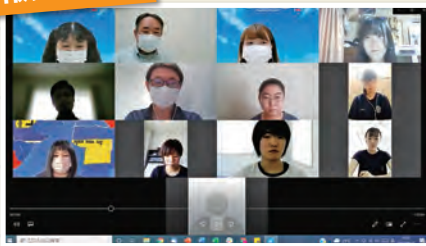


活動のアルバム

開講式
完全オンラインで
行われました



情報交換会

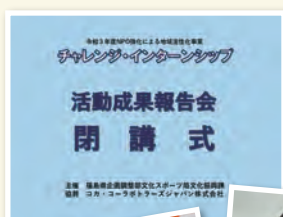


インターン生
情報交換会は今年度初めて
開催されました

活動が
始まりました



みんな頑張りました!





SDGs

を意識して活動できましたか？

SDGsって何？

エス・ディー・ジーズ
持続可能な開発目標SDGsとは



持続可能な開発目標 (SDGs: Sustainable Development Goals) とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標 (MDGs) 後継として、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル (普遍的) なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

(外務省HPより)

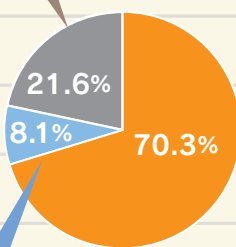
みんなで参加するSDGs



多様な主体が、参加し持続可能な社会をつくっていく取り組み



よくわからなかった



意識した

意識しなかった

・団体さんの取り組みに熱意を感じてボランティアに参加しようと思った

・地域の歴史を知り、どう未来に継続していくのか考えたい

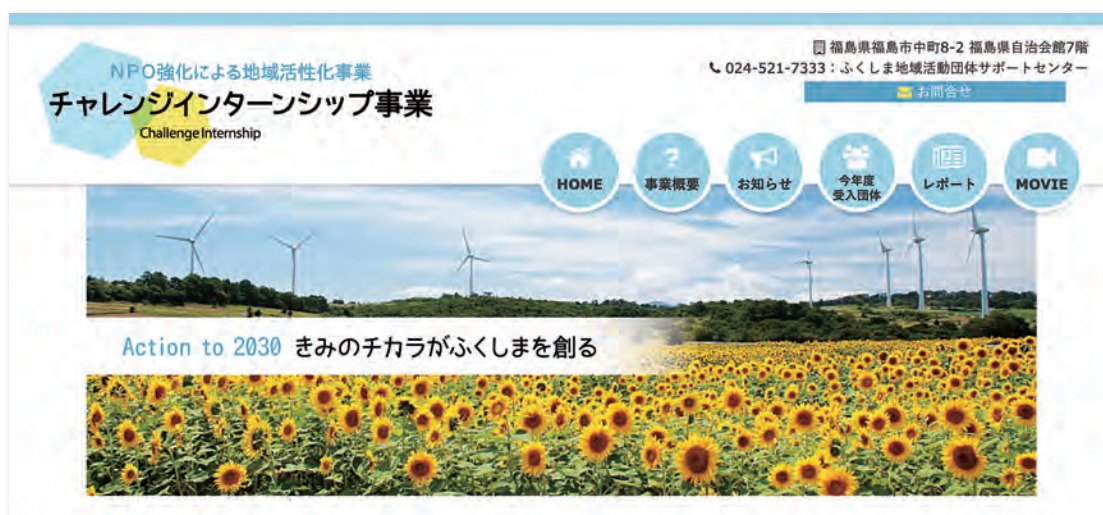
・人のため、人の役に立っている実感があがりやがいのある仕事と実感することができた





これまでのチャレンジインターンシップ事業の活動の様子は
こちらからご覧いただけます

<https://f-intern.f-saposen.jp>



令和3年度
「チャレンジインターンシップ事業」
NPO強化による地域活性化事業 事業報告書

令和4年3月17日発行

発 行	福島県企画調整部文化スポーツ局文化振興課 〒960-8670 福島県福島市杉妻町2-16 (県庁本庁舎5階) 電話 024-521-7179 FAX 024-521-5677
運営受託 事 務 局	認定特定非営利活動法人ふくしまNPOネットワークセンター ふくしま地域活動団体サポートセンター 〒960-8043 福島県福島市中町8-2 福島県自治会館7階 電話 024-521-7333 FAX 024-523-2741

